



はじめてのせかい 1・2歳児



りすぐみ(1歳児)

砂あそび

外に出るとすぐにかけてし、スコップとカップを選びにいきます。

さあ！砂あそびの始まりです。

砂をすくっては入れ、またすくっては入れ・・・スコップからカップにどんどん入っていく砂を目で追っています。保育士が「いっぱいになったね」と声をかけると「うん！」と力強くうなずきました。

毎回選ぶ道具はかわりますが、大好きな砂遊びをする中で、目と手の協応(目で見て手の動きをコントロールする力)が育まれ、それが生活や遊びにもつながっています。



こあらぐみ (2歳児)

さら粉作り

年長児がさら粉作りをしている姿を見て、真似することを繰り返していました。まず、テーブルに砂を広げななめにし、トントントンとテーブルを叩いていくと、細かい砂が残っていくのを知っています。その様子をじっと見て『さら粉になった』と判断する瞬間があります。「こっちはざらざら」「こっちはさらさら」と呟きながら、さらに触って払いのけています。出来上がったさら粉をカップに入れますが、再度感触で確かめている姿は職人のようです。そうして、出来たさら粉を「さわって！」とみんなに声をかけ「さらさらだね」と言われると、笑顔になっていました。

